

## 平成23年行政事業レビューシート（外務省）

事業名	多数国間環境条約遵守問題検討会開催経費	担当部局庁	国際協力局	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	平成19年度	担当課室	地球環境課	課長 杉中 淳				
会計区分	一般会計	施策名	IV-2 地球規模の諸問題への取組					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第4条第3	関係する計画、通知等	—					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	各多国間環境条約遵守規則策定交渉に際し、我が国の利害関心を適切に反映した文言を確保する必要がある。また、右遵守規則は、将来的に策定交渉が行われる他の多数国間環境条約遵守規則に対しても前例として多大な影響を与えるところ、有識者の見解を聴取し、我が国として、周到な準備の上万全を尽くす必要がある。また、気候変動問題に関する次期枠組み構築については、我が国が国際的なイニシアティブを引き続き確保するために、有識者の見解を聴取し我が国の気候変動外交に関する基本的な政策を検討する事が必要である。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	現在策定交渉中の各多国間環境条約遵守規則並びに条約遵守と密接に結びつく条約の責任と救済に関する問題について、有識者を招き勉強会を行うための経費。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)			20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	予算 の 状 況	当初予算	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	
		補正予算	—	—	—	—		
		繰越し等	—	—	—	—		
		計	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	
		執行額	0.6	0.1	0.0			
	執行率(%)	76.9%	18.1%	0.0%				
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	活発な意見交換を行うことにより、当省を始め関係省庁が条約遵守と密接に結びつく条約の責任と救済の問題につき認識を深め、関連条約の会合における我が国政府の対応に生かすことができた。		成果実績	参加人数	76	38	24	
			達成度	%				
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	各環境条約の専門家を招き、多数国間環境条約遵守問題検討会を実施。		活動実績 (当初見込み)	実施数	7 (10)	3 (10)	2 (10)	— ( )
単位当たり コスト	58千円／1回		算出根拠	総執行額÷総実施回数				
平成23・24年度予算内訳 (単位:千円)	費 目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	検討会参加者謝礼	689	689					
	計	689	689					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	平成22年度は、検討会参加有識者が謝礼を辞退した事から。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目・	<ul style="list-style-type: none"> <li>—</li> <li>○</li> <li>○</li> <li>○</li> <li>○</li> </ul>	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。 単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。 受益者との負担関係は妥当であるか。 資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。 費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	当該検討会への有識者の参加の有無を適切に把握し、各有識者へ謝金を支弁している。
活動実績、成果実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>○</li> <li>—</li> <li>○</li> <li>○</li> <li>—</li> </ul>	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。 適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。 活動実績は見込みに見合ったものであるか。 類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	点検を行ったが特段の問題はなかった。		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	—		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
—			
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			

※平成22年度実績を記入

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

<div>費目・使途</div> <div>(「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)</div>	A.			E.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0
	B.			F.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0
	C.			G.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0	
D.			H.			
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)	
計		0	計		0	

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					